

全国港湾Fax通信

No.

(公・事・取扱注意・親展)(写)	(発番)全国港湾22FAX第94号
(宛先) 各 四役、中執、単組委員長、地区港湾議長 殿	2023年4月8日 時 分 (発信者) 全国港湾書記局
(件名)	

23港湾春闘情報(7)

(本文)23春闘は第5回団交を4月26日(火)14時30分から開催し、業側より、第4回中央港湾団交の後、4回にわたり、事務折衝を行い、それをふまえて最終回答として(仮)協定書(案)の提案があった。組合側は、内部議論した結果、業側からの(仮)協定書(案)について基本的に趣旨を理解し、文書の変更を求めず、基本的な合意はするが、本日の調印を取り交わすことはできないと回答した。理由は、賃上げ交渉が各単組・各個別が終わっておらず、(仮)協定書(案)1.-(1)①を後押しする責任があるとした。その検証をふまえ、少なくとも1か月後に検証団交を要請した。その間に適正な料金收受・料金下払い料金確保の確認作業を含め、各単組・各個別の労使交渉の後押しを要請した。

加えて、組合側より、賃上げ交渉と適正料金收受、並びに源資確保の取り組みの指示文書を発出する。内容としては、(仮)協定書を基本合意したことをふまえ、1丁目一番地である料金改定を求め、(仮)協定書を添付して各単組・各地区において、地区・個別の料金を確保する旨の押し上げを図っていくので、日港協として齟齬がないように対応を要請した。

日港協は、(仮)協定書を各地区港運協会、各会員店社に発出し、各単組・各個別、及び各地区の労使交渉を促進すると回答した。

次回団交の続会の日程は、事務局で調整することとした。

4月28日現在の単組のとりくみを下記します。

1. 各単組の取り組み状況について(4月28日現在)

(1) 全港湾

- ① 3月1日までに要求書の提出とスト権集約を同日までに終えた。第1回回答指定日を3月14日とし、各地方の集中回答指定ゾーンは3月14~17日とした。要求は、基本給一律30,000円、大幅賃上げ目指す。65歳までの定年延長、労災補償の引き上げ、職種別最低賃金の確立、伝染病の休業補償を求める等11項目を要求。
- ② 4月28日集計では、速報分会153分会中、15分会妥結。妥結率は、18% 妥結平均額は定期昇給額4,100円、ベア額1,784円となり、合計5,884円。
- ③ 回答平均額については、219分会に回答があり定期昇給回答額平均は、4,132円、ベア回答金額平均は、2,307円、賃金引上げ回答額平均は6,449円。
- ④ 職種別平均回答額は、港湾職種6,764円、トラック職種4,175円、一般職種6,659円となっている。

(2) 日港労連

- ① 2月15日、第1回港荷労使交渉を行った。賃上げ要求は物価高騰をものともしない大幅賃上げとして、基準内月額賃金30,000円。スト権確立2月末に集約。
- ② 4月18日、第2回港荷団交（第5回港荷労使交渉）を行い、以下の内容を基本合意として、各個別協議が整ったことを確認のうえ、港荷労使団交を妥結。「行動の自由留保」を通告解除した。
ア. 賃金については、基準内8,000円、基準外月額2,000円（年額24,000円）特に、基準外の取り扱いについては夏季・冬季一時金に対し別途に等分（半期12,000円）上乗せ実績支給。
イ. 62歳の定年延長に関する逡減措置是正策について
- ③ 関連交渉は、第一回目を3月2日（木）に行い、要求は、月額3万円。独自課題として、5.9協定適用実施、産別協議促進、事前協議の作業体制に関連職種を付記する等。
- ④ 4月3日、第2回関連交渉開催。内部調整中であるとし回答を保留。次回未定
- ⑤ 全日検、4月27日交渉、6,041円の有額回答。次回5月9日。引き続き、職階級、定昇引き上げの再考を促した。

(3) 検数労連

- ① 2月16日に第1回交渉を行い、要求書の提出を行い、回答指定日を3月24日とし、スト権集約は2月20日で確立。要求は、本給一律30,000円。
- ② 4月27日、第9回交渉を行い、日検協会は平均6,194円のまま修正回答が出されず、全日検は6,041円の有額回答。前回の金額が変わらずの両協会に対し、不満として修正回答を求める。次回5月9日。

(4) 検定労連

- ① 要求書提出は、3月2日とし、スト権集約は2月末日。賃上げは10%以上の要求とし、要求項目として、あるべき賃金、時間外算定基礎分母の143への引き上げ、定年を65歳にすること。
- ② 海事検定は4月13日に大筋で合意：賃上げ結果として、組合員平均=9,362円。
- ③ 新日本検定は4月14日に合意：賃上げ結果として、役割給改定・現業組合員一人平均=8,000円+アルファ
- ④ (株)シンケンについては、団交継続中で次回交渉は5月1日に開催予定
- ⑤ 検定労連全体として、昨年以上で大筋合意。個別では、シンケンが交渉中。

(5) 全倉運

- ① $5\% + \alpha$ を統一要求基準とし、統一要求提出日は3月15日（水）。
- ② 4月28日現在、単純平均33単組 平均8,484円（+2,792円）
加重平均3,865人 平均9,936円（+3,114円）

(6) 大港労組

- ① 大幅賃金引き上げの確保。基準内賃金月額 30,000 円を要求。2月 24 日(金)に第 1 回団交を開催し、要求書主旨説明を行った。
- ② FAX 第 89 号(4月 21 日付)で、大港労組の交渉状況報告の②は、「4月 14 日団体交渉を行った。次回、4月 24 日を予定」と修正します。
- ③ 4月 14 日の第 4 回団体交渉から4月 24 日を経て、4月 28 日の団体交渉で基準内 8,500 円にて妥結。

(7) 全日通

- ① 要求書提出は2月 13 日(月)、賃金 13,700 円の増額、一時金年間(夏季・年末合わせて)5 か月、生活の維持向上。定昇も含め取り組んだ。
- ② 3月 16 日妥結。賃金 10,550 円(税込み/4%)、一時金は年間 3.500 カ月(夏、1.750 カ月・冬、1.750 カ月)

以上